

無景

何処へ行こうか

あてどなく歩き回るもよし

煌々と反射する満月がある

何処へ行こうか

草を踏み

石を蹴り

無目的であること

それが生の真髄であること——

あたりに立ち込めはじめた霧のように

おぼろげな生成を繰り返す意識

登る足を急がせるものは何だ

単なる畏怖か

それとも忘却への渴望か

かたち、を与える者よ

ああ、お前なしに世界は成り立たない

何処へ行こうか

神経を波立たせる無機的な作用が支配し

そのためだけに創造された——

そんな世界にはもう飽きた

生の中に死は潜み

死は生を懐胎する

僕は広大な世界を抱きに来たのではない

景色など要らない

次元というものは無意味だ

滅びの中に分け入ること

自滅を見届けること

何処へ行こうか

草を踏み

石を蹴り

(2011.9.13)